

86 奥市場の道標・鳴瀬戸の墓標 (野村町)

みどころいっぱい・西脇 ふるさと探訪



▲並んで建てられている道標と墓標



▲「鳴瀬戸」の墓標



とされています。

太兵衛の死後、子の臼井新吉も相撲好きで先の仲間の関係者らとともに、明治21年にこの塚を建てたとされています。

その右側には墓標があります。「鳴瀬戸」という地方相撲の力士の記念碑です。鳴瀬戸は本名を臼井太兵衛といい、江戸時代末期から明治時代初期にかけて、同郷の中村市松、稲垣ツトム、西村ノブイチらとともに、西脇の地方相撲で活躍したと伝えられています。

西脇市内には、現在36本の道標が確認されています(旧西脇市に25本、旧黒田庄町に11本)。奥市場の道標は丹波道と生野道の分岐点で、市内で2番目に古く、安永9年(1780年)に野村の観音講の人たちによって建てられました。

編集室から

身についた悪習慣はなかなか改善できないもので、健康診断の直前にだけ生活習慣を直すこともあるのでは。結果が良かった悪かったと一喜一憂せず健診をその後の生活習慣改善へとつなげるきっかけに、という思いで特集を企画しました。自分に合った健康づくり…保健師さんの言葉ですが、日々の生活の中で、まずはできることから無理のない範囲で取り組んでみましょう。

毎日新聞社主催の「近畿市町村広報紙コンクール」で、9月号の特集記事「お弁当で孤立を防ぐ」の企画が評価され、昨年以上回る優秀賞(2席)をいただきました。今後も皆さんに楽しんでもらえる広報紙をお届けできるよう努めていきます。

「師が馳せる」ほど忙しい12月。長谷川穂積選手の世界前哨戦が神戸で、全国高校駅伝大会が京都で行われます。広報担当も取材で走り回ります…。【H】

今月の一枚



日野小学校5年生が、地域の方々(日野っ子農業体験支援グループ)の指導で稲刈りを体験。昔ながらの脱穀機で収穫した餅米で後日餅つきをしました。

発行/西脇市

編集/総務部秘書広報課

〒677-8511 西脇市郷瀬町605

TEL.0795(22)3111 FAX.0795(22)1014

西脇市HP/ <http://www.city.nishiwaki.hyogo.jp>

西脇の自然

ムクロジ (むくろじ科)



西脇市動植物生態調査 研究グループ

国内でも自生は珍しく、市内では水尾町の大日寺、住吉町の大通寺に植えられているのを見ただけです。

真黒い種は堅く、羽つきの球や数珠に使われたりします。

6月ごろ、枝先に20〜30cmの円錐花序を出し、黄緑色の小さな花を多数つけますが、あまり目立たずうっかりしていると散った後で、11月ごろにあめ色の果実になって初めて今年も花を見られなかったと後悔ばかりします。

果皮にサポニンを含んでいてよく泡立つので昔から洗濯や洗髪に使ったり、食用にもされた、と書いてありました。

西脇多可休日急患センター

◆ところ 西脇市下戸田652-1 西脇病院救急外来室

◆診察日 日曜日

(年末年始を除く)

午前9時〜午後5時

◆問合せ ☎23-5380

※病状やけがの様子など、電話であらかじめご連絡ください。

必ず健康保険証を持参ください。

12月の出務予定医師

12月 2日(日)	上田 正生 先生
12月 9日(日)	伊藤 通男 先生
12月16日(日)	戸田 忠一 先生
12月23日(日)	近藤 行男 先生